

創立 1964年 6月16日
遷移 1964年10月19日
第2510地区 第11グループ



創立40周年
2003～2004
Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報



2003～2004年度
R1会員
シヨチヤB、マリアン
国際ロータリーへのテーマ
『手を貸そう』

四つのテスト

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好感と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

北村 祐治 会長テーマ 『YES, I DO!』 さあ、行動しよう!



3月10日クラテアセッションリー 今 均ガバナー補佐

《第1959 回例会》 第 35 号 3月17日(水)

本日のプログラム

卓話 「最近の国内外の情勢についての思い」

石田芳樹 管理事務所 所長 石田 勉氏

会長 北村 祐治 (任得) 幹事 柴崎 晃

例会会場: 函館 国際ホテル 〒114-0064 函館市大手町5-11 TEL23-5151
例会日: 毎週水曜日 12:30～13:30 事務局: 函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

(178)

純和風造り
ゆづりくつろげる憩いの宿
季節の味覚と心あたたまるサービス



湯の川温泉
旅館 一乃松

函館市湯の川町1丁目3番17号
TEL(0138) 57-4000(代) FAX(0138) 57-3666

(広告掲載: 松橋 博 会員)

函館北ロータリークラブはweb(ホームページ)を公開しております。

http://www.hakodate-north.org/
e-mail サイト roary@hakodate-north.org

2003-04年度 函館北ロータリークラブの事業目標

1. 一般社会の健全化——創立50周年に向けて
2. 親睦「この方と出会ってよかった」——2003年9月21日創立記念式典・懇親会が最大の「親睦の日」
3. 奉仕——*地域社会: 市入交遊安全車(500cc)の寄贈(記念事業)
*国際社会: 市内の教育施設・福祉施設に貢献する
ロータリーによる新世代への教育施設・福祉施設に貢献する
——子供・家庭・職業奉仕委員会を通じて
- *国際奉仕: 国際奉仕活動の「芽」を育てる
今、他国では、一方中の奉仕の価値が10倍、20倍に高められています。
「R.I. 3400地区イノセントクラブ・シヨチヤカルタ・タマシヤクラブ・C」を通じて、小学校の図書館交換のため、本報・机・本150冊ほどの物品を寄贈する。』
4. インターネット・コミュニケーション委員会を設置し、当クラブ以外のクラブとの情報交換を行い、合わせて
会員企業間の情報交換に貢献する。
5. 友人の言動に好意を払い、友人の成長を願って、「手」を貸しましょう。
——「lend a Hand and Take Action with our heartfelt care
——for Rotary's international vision!

◎2月24日出席報告

会 員	39名	出席率対象会員		38名	
		出席規定免除会員	出席率規定免除会員	1名	1名
当日出席	12名	当日欠席	26名		
他クラブ出席	14名	出席合計	26名		
出席率			70.27%		

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26-3170 番

次回・3月24日 卓話 「高齢社会における生活支援義務について」
プログラムの 司法書士 山本 直樹 氏

○クラフアツセンゾリー

●会長報告 北村 祐治 会長

本日のクラフアツセンゾリーは、各委員会報告です。昨年は当クラフの創立40周年の年で、当クラフのメイン事業でありましたが、そのほか様々な事業を展開しているため、今日は各委員会からその報告をいただきます。

○委員会報告

●職業奉仕委員会 増田 定雄 委員長

昨年11月19日、斎藤会員のご協力により健康検診を実施しましたが、多数の会員が検診を受け、各会員に結果の報告がありました。引き続き健康に留意下さい。

●社会奉仕委員会 増山 正 委員長

昨年9月、洞爺丸慰霊碑の清掃を実施しましたが、雨天にもかかわらず多数の参加がありました。また、昨年12月にノースアイランドが老人ホームの慰問を行いました。小池バンドマスターと相談して、今年6月頃2回目を実施したいと思っています。

●国際奉仕委員会 野田 義成 委員長

創立40周年記念事業の一環として、インドネシアでの教育活動、特に識字運動への支援を行っています。インドネシア・ジョグジャカルタ、タマンサリR.C.と提携し、同地区の公立ナガル・レゾ第三小学校に対し、図書館の整備支援活動を行っています。予算は、函館北R.C.の30万円とR.I.2510地区財団からの補助金20万円の計50万円を充てた。同小学校への支援は、10万円を日本の図書、DVD、小学校の教科書、音楽のカセットテープ等の購入費に充て、残りの40万円は、現地での図書館整備費用と図書、備品等の購入に充てた。支援完了は、2004年4月であるが、現在予定通り進行中です。また、3月3日付でインドネシアのMUDA、MUDI.RW公共図書館から支援要請がきているが、後日検討すべき事項と思われます。なお、2004年4月中旬には北村会長と石橋会員が、現地インドネシアに提携視察に赴く予定となっています。2510地区を通じてのR.I.ポリオ撲滅キャンペーンへの会員1人100ドルの支援は完了しました。2005年度世界ロータリー100周年記念に向け、海外クラフとの友好関係の継続を図ります。

●新世代委員会 石橋 剛夫 委員長

交換学生、インターアクト、クラフ奨学会ですが、交換学生については、田畑さんが辞められたので報告を省略します。

大谷高校のインターアクトクラフについては、計画通り進んでいます。

クラフ奨学会は、高等専門学校の梅村さんが今年度で卒業となります。前回理事会で承認いただいたので、新たに一人奨学生を募集したい。奨学生としてふさわしい人がいれば、3月24日まで推薦いただきたい。推薦がなければ各学校長、または市に依頼したい。それと合わせて、山形さんには、頑張っていることを皆様に報告します。

●友好クラフ委員会 小笠原 孝 委員長

40周年記念においては、台湾東北、和歌山城南、千葉港から多数参加をいただき友好を図ることができました。それと今回から、5年毎に友好クラフの契約を更新する取り決めをし、また、各クラフの会報の交換をこれまでどおり続けていくこととしました。

●クラフ奉仕委員会 南木 哲雄 委員長

クラフ奉仕委員というより、40周年記念式典幹事として活動をさせていただいた。友好クラフより約100名の参加をいただき、ソクタ、ソロチニストほか、沢山の参加をいただいて盛会裡に終えることができ、各セクションで協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

●出席委員会 森 秀樹 委員長

この半期の出席率が、82%から83%で推移したことにに対し、皆様の協力に感謝します。出席率の良いクラフは活気があり、会員の増強も図られ、奉仕活動の内容も充実している。来期に向けても皆様の協力をお願いします。

●クラフ会報委員会 増田 定雄 委員長

昨年7月の発足以来、会報34号を発行、委員8名によるローテーションで順調に推移しています。また、皆様の協力により、広告も途切れることなく現在まで続いています。なお、広告料未納の方は、事務局までお願いします。

●親睦活動委員会 松見 修二 委員長

納涼ビール会から始まってクリスマス家族会、1月のソロチニスト、ソクタクラフとの合同例会、七飯、亀田、上磯クラフとの合同例会等を開催しましたが、あと一回程度、親睦会を企画したいと思っています。

BOXについては、現在、93万円ほどの額となっていることとあり、各委員会で有効に使用いただければと思っています。

次に、IC委員会ですが、今後、リニューアルを手作りで行う予定としています。

●ロータリー財団

●米山記念委員会 中野 亮 委員長・今井 定一 委員長

米山財団の寄附は30万円から10万円となったが、米山財団は、後進国から留学生等を受け入れ、日本と諸外国とのパイプ役を務めています。月初めにBOXを回していますので、110円もしくは500円のご寄付をお願いしたい。

寄附の目標が達成されるか心配していましたが、事務局の報告によると、皆様の協力により計画どおり集まっていると安心していきます。今後ともよろしくお願います。